

# 昔おきなわ風景探索

沖縄県公文書館所蔵の写真と空中写真

1945年か



地図を表示

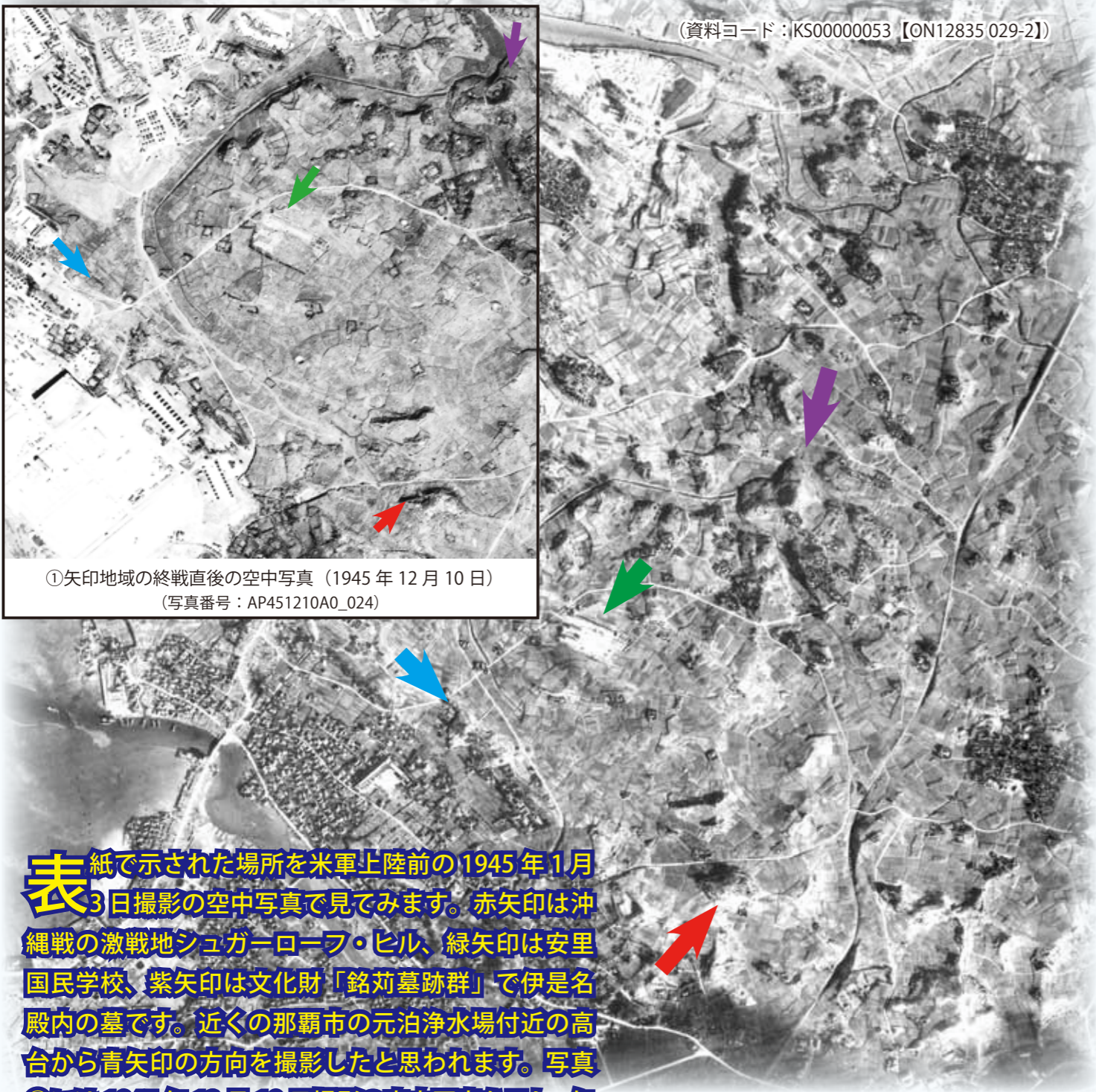
Q. どこでしょうか？



(写真番号：84-37-1 をカラー処理)

A. 那覇市おもろまち付近

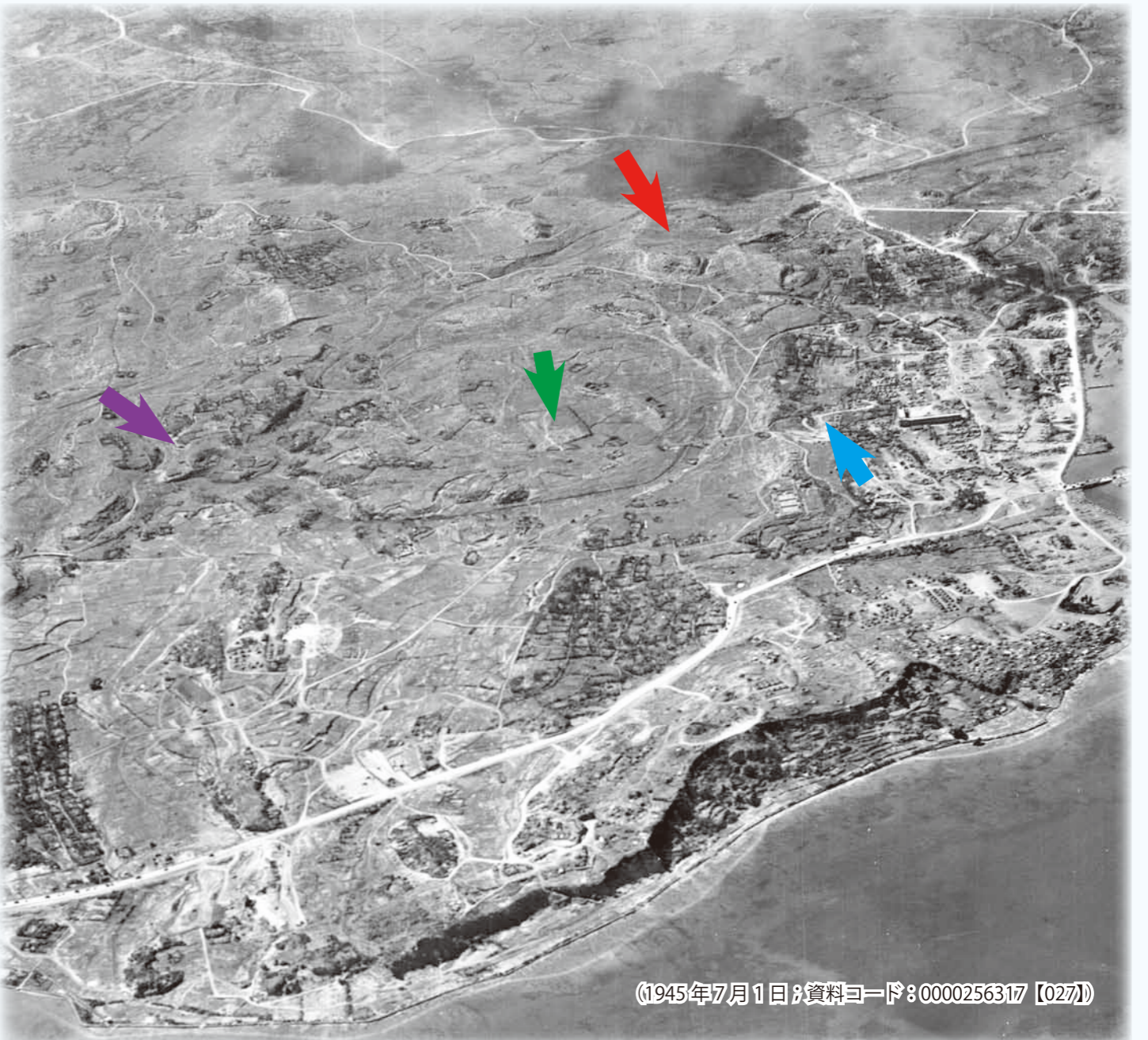
**写**真の遠景中央部には、沖縄戦の激戦地の慶良間チージ（シュガーローフ・ヒル、安里 52 高地）と思われる丘がみえます。その右側手前のなだらかな丘上には、リュウキュウマツでしょうか、複数の樹木が確認されます。その高台から画面左側にかけて緩やかな凹地になっており、荒涼とした光景がひろがっています。遠方には煙が立ち込めており、沖縄戦時（1945 年か）の那覇市おもろまち付近と考えられます。場所特定の鍵となったのは写真右側にある棒切れでした。



(資料コード: iKS00000053 [ON12835 029-2])

①矢印地域の終戦直後の空中写真 (1945年12月10日)  
(写真番号: AP451210A0\_024)

**表**紙で示された場所を米軍上陸前の1945年1月3日撮影の空中写真で見えます。赤矢印は沖縄戦の激戦地シュガーローフ・ヒル、緑矢印は安里国民学校、紫矢印は文化財「銘苅墓跡群」で伊是名殿内の墓です。近く的那覇市の元泊浄水場付近の高台から青矢印の方向を撮影したと思われます。写真①には1945年12月10日撮影の空中写真を示し、矢印を同じ位置に表示しました。天久や泊付近には米軍のテントと思われる施設が写っています。



(1945年7月1日; 資料コード: 0000256317 [027])

上の写真は、天久の北西側上空から撮影した斜め空中写真です。近景の手前には旧天久集落、右側には旧泊国民学校。遠景には首里の坂、左隅には龍潭池が確認されます。表紙の写真の位置を確定できたのは、写真②の中央に見える棒切れでした。②の右側の別の写真には棒切れと泊国民学校が写っていたからです。カメラマンが目印として棒切れを置いたのかもしれませんが。写真③はシュガーローフ・ヒルから現在の沖縄県立博物館・美術館方面を見た写真です。写真左側には、写真②を撮影したと思われる丘が確認されます。矢印は、左の頁と同じ場所に示しました。



②那覇市上之屋付近からシュガーローフ・ヒルと泊国民学校 (現泊小学校) をみる (1945年か)  
(写真番号: 84-36-2, 84-37-1 を接合)



③シュガーローフ・ヒルから天久方面をみる (1945年6月)  
(写真番号: 91-13-4 と 92-12-3 を接合)



④矢印地域の当時の地形（1951年米軍作成 1/4,800 地形図）  
（資料コード：0000108935【AMEKU SHEET 135】）



前頁の矢印の位置を現在の地図（国土地理院）に落としてみました。現在の那覇市の新都心一帯になります。地図上の赤、青、紫、緑の矢印は空中写真とほぼ同じ位置になります。当時の地形がほとんど残ってないので、左上の④に1948年の地形図を表示し、同じ色の矢印で示しました。

昔おきなわ風景探索 No. 7

発行日：令和7年（2025）3月20日

編集執筆：当山昌直（1951年生）

発行：（公財）沖縄県文化振興会 公文書管理課

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川148-3 沖縄県公文書館内

電話 098-888-3875（代表） FAX:098-888-3879

沖縄県公文書館デジタルアーカイブ

アメリカ統治下にあった頃の写真や空中写真を公開しています。

